まちなかの居心地の良さを測る指標（改訂版ver.1.1）の概要

国土交通省

○本指標は、**居心地の良い空間が形成されているかどうかを、より人間らしい視点から把握**するための指標です。

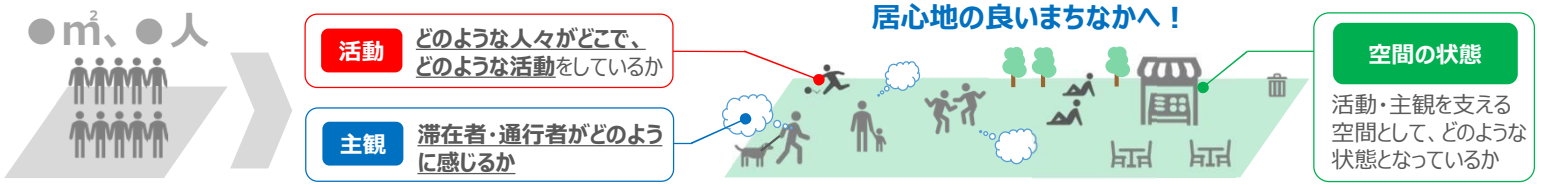
○これまで多くのまちなかの調査では、ハードの整備状況や滞在者・通行者数により、まちなかの状態を把握していましたが、本指標は、これらに加え、滞在者・通行者が**どのように場を利用しているか【活動】**、**どのように感じるか【主観】**に着目し、それらを**「居心地の良さの４要素」**に分類して計測します。

○エリアのビジョン等に応じて、**まちづくりの実践者自らが指標となる項目を選択・追加しながらエリア独自の指標を設定**し、まちなかの居心地の良さを体現する空間や人々の状態を定期的・定点的に調査、可視化することで、どのように空間を育てていくのか、どのように空間を使えたらいいかなど関係者間で意見交換を行う際に、**本指標が議論の素材として活用され、気づきのきっかけになることを期待**しています。

本指標を用いて「まちなかの居心地の良さ」を様々な観点から計測し、皆さんの空間を見直してみませんか？

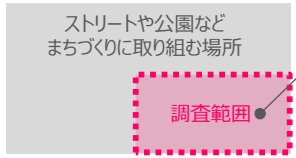
■ 目的・基本的な考え方

都市空間の状態を、面積・人数などの「量」だけで捉えるのではなく、**【活動】や【主観】などの「質」を可視化**し、その場の強みや弱みを分析・考察して改善を重ねることで、**単なる空間（スペース）から居心地の良いまちなか（プレイス）へ場を育てます**。



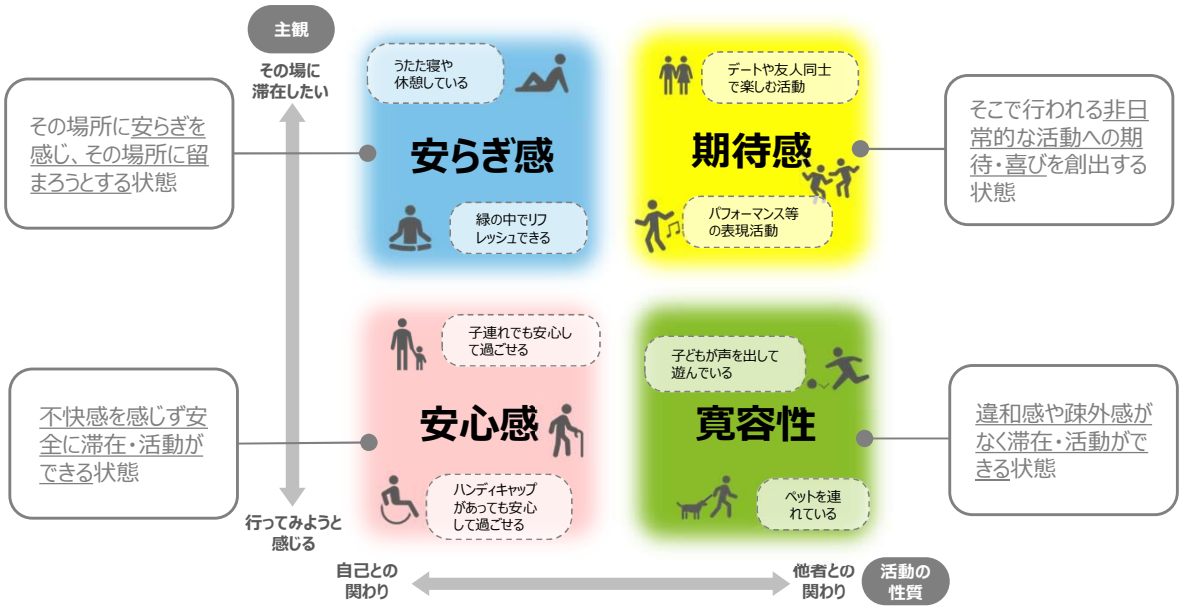
■ 活用主体・対象地

地方公共団体や民間まちづくり団体等の**まちづくりの実践者**が、**まちづくりに取り組む場所**で活用することを想定しています。



■ 居心地の良さの４要素

本指標は、居心地の良さを**安心感・寛容性・安らぎ感・期待感**の４つの要素にグルーピングし、対象地を要素ごとに把握します。居心地の良さの４要素には各項目の指標を設定し、項目ごとに**【主観】**と**【活動】**を計測します。



▼計測イメージ　*滞在者・通行者がどのように感じるか、調査者（2～3人）の主観で代替





主観（調査者*が滞在・通行して感じられること）

- 安心感#2：安心して子どもを遊ばせられる場所だと感じる
- 寛容性#2：子どもが声を出して遊べる場所だと感じる
- 期待感#4：人が群がりそうな面白そう・雰囲気の良いものがある場所だと感じる
- 安らぎ感#1：ぼーっとできる場所だと感じる
- 安らぎ感#3：横になってくつろぎたい場所だと感じる
- 安らぎ感#5：緑などに囲まれて自然を感じられる場所だと感じる

活動（調査時に見られる滞在者・通行者の活動）

- 安心感#2：子どもを遊ばせている
- 寛容性#2：子どもが声を出して遊んでいる
- 期待感#4：何かに人が群がっている
- 安らぎ感#1：ぼーっとしている人がいる
- 安らぎ感#3：横になって過ごしている人がいる
- 安らぎ感#5：花壇や緑などを眺める人がいる

まちなかの居心地の良さを測る指標（改訂版ver.1.1）の概要

国土交通省

■ 調査項目の構成

居心地の良さ確認

安心感	寛容性	安らぎ感	期待感

居心地の良さは、４要素に分けて、主観・活動項目により測定

主観　活動項目に対応する主観項目を設定し、活動だけでは把握しづらいことを主観により補足。

- 安心して赤ちゃんを連れてこられる場所だと感じる
- 安心して子どもを遊ばせられる場所だと感じる
- ・・・・

活動　例えば、安心感であれば安心感を感じる場合に見られる活動を抽出し、項目として設定。

- 赤ちゃんを連れている人がいる
- 子どもを遊ばせている
- ・・・・

空間の状態
- 沿道建物・土地状況
- 機能・設え状況

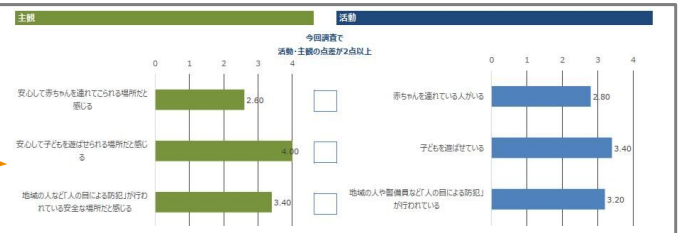
関連する項目
- 基礎情報記入
- 滞在者・通行者確認

※空間の状態・関連する項目は、参考情報として記録します。

■ アウトプットのイメージ

活動　**主観**

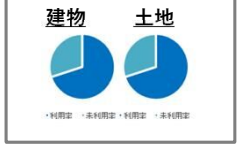
居心地の良さ確認



項目ごとに横棒グラフで表示

空間の状態

沿道建物・土地状況

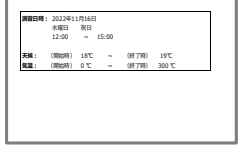


機能・設え状況

項目	結果
トイレが設けられている	☑
座れる場がある	□
Wi-Fi、電源が整備されている	―

関連する項目

基礎情報記入



滞在者・通行者確認



■ まちづくり活動のプロセスに応じた活用イメージ

まちづくりの各段階において、本指標によりまちなかの状態を定期的・定点的に把握することで、試行・検証・改善の一助となることを想定しています。本指標は、**異なる都市間の比較のためではなく、特定のエリアで継続的に行う取組を向上させるためのツール**です。

まちづくりプロセス	計画策定	社会実験	施設整備	運用	・・・	ビジョンの実現
まちづくりの実務アクション	対象地のエリア特性を踏まえ、ビジョン・アクションを計画に反映	計画を踏まえ、机・椅子等を配置し、使われ方を検証	試行の成果を踏まえ、机・椅子等を常設・整備	取組の質を高めるための再検討や改善	・・・	多様な活動が見られる「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成
指標の活用イメージ	計画策定前段階において、エリアの特性や使われ方を把握	社会実験等、試行結果の検証	施設の整備効果の検証	施設整備後の人々の活動の変化を定期的に把握 イベント等ソフト施策の効果検証	・・・	施設整備やエリアマネジメントによる計画の達成状況を確認



社会実験



常設









ステークホルダーに結果を伝えコミュニケーションをとる
（資金提供者、地域住民）

まちなかの居心地の良さを測る指標（改訂版ver.1.1）の変更点

国土交通省

■ ver.1.0からver.1.1への改訂について

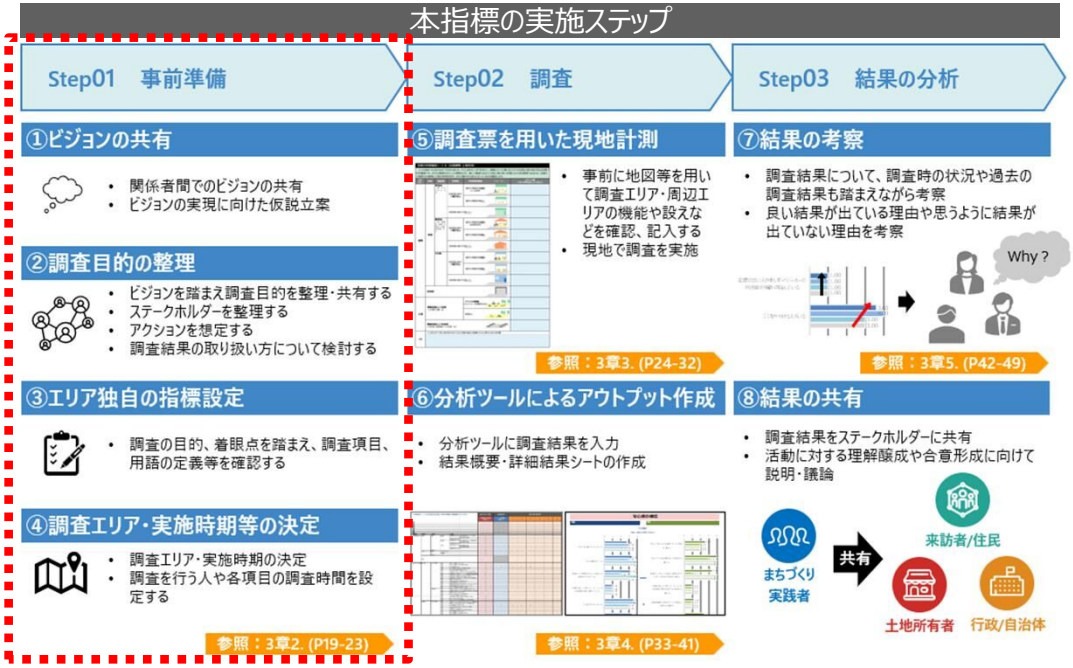
複数の異なる特性を持つエリアで実地計測、来街者へのアンケート、ワークショップを実施し、調査者と来街者の主観の乖離等を分析した結果やいただいたご意見等を踏まえ、以下の見直しを行いました。

■ 主な変更点

1 活用の手引き

エリアの特性に応じて指標を設定する重要性を強調するとともに、実施ステップを充実化しました。

- エリアの特性や取り組み等により、設定すべき指標は異なることから、エリアのビジョンや戦略に応じて、まちづくりの実践者自らが指標となる項目を選択・追加しながら**エリア独自の指標を設定する重要性を強調**しました。
- エリア独自の指標の設定にあたっては、関係者間でのビジョンの共有・調査目的の整理等、事前準備が重要であることから、実施ステップを充実化しました。



2 調査票・アウトプット

【調査票（全体）】

- 調査中に手引きを確認する必要がないよう、各シートに調査の目的や項目の意図などを記載しました。
- わかりにくい表現を見直しました。*
- エリア特性に応じて、空間の状態確認（機能・設え）や居心地の良さの指標項目を追加できるようにしました。

【調査票（居心地の良さ確認シート）】

- 活動の結果が主観に影響しないよう、主観と活動の順番を入れ替えました。
- 分析等により、指標項目の妥当性を検証し、一部見直しを行いました。*
- 寛容性は、その空間で行われている活動（アクティビティ）の種類を確認するシートを追加しました。

＊詳細は、次ページの（参考）ver.1.0 の測定結果を活用する場合をご確認ください。

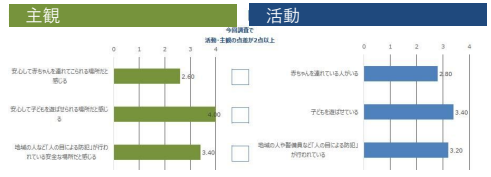
【アウトプット】

- 居心地の良さの４要素は、要素ごとに全ての指標項目の平均値をレーダーチャートにより示していましたが、一つ一つの指標項目に着目して議論することが重要であるため、指標項目ごとの結果を示すこととしました。

Ver.1.0



Ver.1.1



（参考）ver.1.0 の測定結果を活用する場合

国土交通省

ver.1.0からver.1.1への改訂にあたり、指標自体は言い回し等の変更が中心となり大きな変更はありません。一方で、一部の指標を追加・削除しているため、ver.1.0の分析ツールの内容をver.1.1の分析ツールにそのまま転記することができません。改訂にあたり、追加・削除している項目一覧を整理しておりますので、ver.1.0の結果をver.1.1の分析ツールに転記する場合に参考にしてください。なお、転記する場合には、ver.1.0と1.1で主観と活動の順序が逆になっているのでご注意ください。また、ver.1.0の内容で経年変化を確認したい場合には、ver.1.0の分析ツールを引き続き活用も可能です。（HPに引き続き公表）

Ver.1.0	Ver.1.1
入力①　１．基礎情報の入力	
①基礎情報	
（なし）	調査開始時の風 調査週常時の風
（なし）	メモ
⑤周辺治安情報・備考	
近隣地区の交通事故件数 近隣地区の犯罪発生件数	（削除）
備考	
入力①　２．調査結果の入力	
空間の状態確認シート	
○歩きやすさ ・通路の表面に・・・ ・歩行中に足を・・・ ・（なし）	 （景観・雰囲気に移動） （削除） 近くにレンタサイクルや・・・
○景観・雰囲気 ・（歩きやすさから移動） ・錆び・破れ・落書き等・・・	 アスファルト以外の・・・ （削除）

Ver.1.0	Ver.1.1
居心地の良さ確認シート	
○安心感 ・鳥や虫を・・・/動物や虫の行動により・・・ ・（なし）	 （削除） エリア特性に応じて追加・・・
○寛容性 【①活動の種類】 ・（なし） 【②主観・活動】 ・想定外の活動が・・・/誰でもここで・・・ ・投稿用と思われる・・・/投稿用の動画を・・・ ・（なし） ・（なし）	 【①活動の種類】 ～No.20は自動計算、No.21～追加 【②主観・活動】 （削除） （削除） 一人でも複数人・・・/一人で過ごす・・・ エリア特性に応じて追加・・・
○安らぎ感 ・（なし） ・イヤホンなどで・・・/一人で音に耳を・・ ・（なし）	 水辺を眺め・・・/水辺を眺め・・・ （削除） エリア特性に応じて追加・・・
○期待感 ・絵を描いている・・・/絵の題材に・・・ ・視察やツアー・・・/地域固有の・・・ ・食べ歩きを・・・/食べ歩きをしたい・・・ ・（なし）	 （削除） （削除） （削除） エリア特性に応じて追加・・・

※　滞在者・通行者確認シートについて

年齢の区分を（幼児～小学生、中学生～大学生、社会人、高齢者）から（乳幼児、小学生、中高生、大人、高齢者）に変更しています。正確な対比はできませんが、（幼児～小学生）を（乳幼児）や（小学生）に記載するなどで対応ください。